

時代の転換期! 下水道から浄化槽の時代へ!

変わり行く水の流れ

「100年に一度の暴風雨が荒れている。」と表された現在日本の経済状況。併せて医師不足による救急医療体制整備の問題や、年金問題に象徴される社会保障問題等、日本国民誰もが信じていた我が国の安心安全神話は脆くも崩壊した。

現在我が国の社会構造は、少子高齢化の一途をたどり続け、これまで将来にわたる財源不足の状況下におかれながらも誰もが口を閉ざしてきた消費税率の引き上げについて、先の緊急経済対策の記者会見の場で、遂に総理自らその重いフレーズを語る事となった。

今、国と地方は合わせて約1000兆円の借金を抱え、どういった政策を今後講じるべきか、財政健全化に向けた大きな決断の時を迎えている。

例えば、多くの地方自治体が財政健全化を目指す上で、重大な決断を求められる事業に生活排水処理事業がある。そしてこの事業には、下水道 集落排水処理 浄化槽という三つの選択肢があり、自治体の判断によってそれら三つの事業のいずれかを選択し実施しているが、未だに収支バランスを無視した下水道事業や集落排水処理事業へ、湯水のごとく貴重な浄財(税金)が投入されている現状がある。

この100年に一度の暴風雨にさらされる日本経済の中で、本当にこれで良いのだろうか?見直す必要はないのだろうか?正直なところ疑問が生じる。

毎年の建設費だけで国・地方合わせて2兆円以上が下水道に投じられ、しかも(予定はあるが)いつ完成するかわからない。また完成しても供用率100%に達するには、さらに何十年もの歳月を要する。まして、今後生活排水処理対策の中心となるのは人口5万人以下の中山間地域となり、その整備には人口の密集した平野部と比べ物にならない時間とお金を要するのである。

本当に私たちの町は大丈夫だろうか?不安は深まるばかりである。

(※資料1)

下水道が、集落排水処理が、浄化槽が、何れにせよこの三つの選択肢の中から決断するのは自治体である。

新しい浄化槽時代の幕開け

ここで浄化槽についてメリット、デメリットを検証する必要がある。

前号でも挙げたが、まずメリットとしては、整備にかかるコストは先に述べたように圧倒的に浄化槽が有利であるの言うまでもなく、又設置も迅速に行うことができ災害にも強い。その処理性能においても浄化槽は下水道と同等の処理性能を持ち、個別設置であることから、今後の人口減少等により使用する必要がなくなった場合は、1基単位で休止することができ今後の人口変動に効率的に対応できるなどといったメリットもあげられる。

一方、デメリットをあげるとするならば、その維持管理体制にあるといわれている。

しかし、現在業界を挙げての取り組みも行われ、全国各地でそれぞれの現状に則した改善策が講じられ、今やデメリットと言われてきた維持管理体制は強化され、より充実したものとなっている。

例えば、広島県では、これまで大きな地域差が生じていた浄化槽の保守点検回数や維持管理業務内容などの浄化槽の取り扱いについて、「浄化槽の事務の取扱並びに工事、保守点検、清掃及び法定検査に関する必要な指導事項を定めた広島県浄化槽取扱指導要綱」を改定し、新たに「浄化槽の使用、保守点検等」の中で保守点検の基本的な考え方を示し、平成20年度から施行されている。

また法定検査についても、平成15年度には中国地方で最低水準であった11条法定検査の受検率の向上を図るため、昨年度より検査機関の新設と同時に新たな検査方法(効率化検査)を導入し成果をあげている。

一方、直接維持管理業務に携わる業界では、維持管理体制強化に向けた積極的な取り組みが行なわれているところであり、清掃、保守点検、法定検査という浄化槽には欠くことのできない業務の連携を図り、浄化槽管理者(設置者)に分かり易く、適正かつ効果的な維持管理を可能とした「浄化槽維持管理システム」(図1参照)の導入を積極的に進め、県内各地域において環境にやさしい浄化槽の整備促進を図っている。

岐阜県においては、「みず再生施設認定制度」を新たに創設し、現行の下水道事業の経営状況は総じて厳しい状況にあることから、すでに設置されている合併浄化槽を今後も利用し、下水道と共生させることで汚水処理施設整備の効率化を図ろうとしている。

同制度は、既存の浄化槽にプロワー停止時の警報機の取り付けや、放流水の透視度の確保など一律の認定基準を定め、それに適合した浄化槽は、より高度な維持管理がなされているとして、下水道と同等の施設として使用できる「みず再生施設」として認定するものであり、浄化槽を今後も恒久的に利用していくための新たな動きとして全国から注目を浴びている。

以上のような事からも、近年の生活排水処理事情は、大きく様変わりしようとしている。

とりわけ高度な処理が可能となった現在の浄化槽の位置づけは激変しており、単に浄化槽は下水道が来るまでの繋ぎの施設とされていた時代から、下水道と同等の恒久的な生活排水処理施設として認知されるに至っている。

そして今後更に、国・地方の逼迫した財政事情に後押しされ、浄化槽への一層の期待が高まるのは必至であり、まさに浄化槽時代の幕開けといえるのではないだろうか。

最後に、全ての生活排水処理事業が、単なる公共事業を生み出すツールとしてではなく、地域の実状を十分に考慮し、堅実な判断の下、真に地域の環境の保全と向上を目指す事業として推進されますことを願うものであります。



発行者
広島県環境整備事業協同組合

〒730-0025
広島市中区東平塚町3番28号
TEL (082) 246-0340
FAX (082) 248-1258
http://www.hirokankyoku.jp

環境整備事業関係広報紙
第30号

本紙は一般廃棄物・浄化槽保守点検清掃等の取扱業者による広報紙です。
会員、関係企業に頒布しております。

目次

時代の転換期! 下水道から浄化槽の時代へ! (続編) …… 1面

全国環整連第34回全国大会 in WAKAYAMA …… 2~3面

レポート …… 4面

【資料1】 集合処理から個別処理への計画変更による建設事業費の変更例

【都道府県構想の変更による削減例：秋田県】
表 見直しによる削減額

整備手法別	全体計画投資額 (a)		~H12末(b)	今後の投資総額 (a - b)			1人あたり事業費	
	見直し前 A (億円)	見直し後 B (億円)	投資済み額 (億円)	見直し前 A (億円)	見直し後 B (億円)	増減 (B-A) (億円)	見直し前 (万円)	見直し後 (万円)
公共下水道計 (流域含む)	10,934	10,707	4,965	5,969	5,742	- 227	145	140
集落排水等 計	4,318	3,070	1,384	2,934	1,686	- 1,248	155	138
集合処理 計	15,252	13,777	6,349	8,903	7,428	- 1,475	148	139
個別処理	273	504	67	206	437	231	40	37
合計	15,525	14,281	6,416	9,109	7,865	- 1,244	140	121

※公共下水道の事業費には、汚水に加え、汚泥を処理する施設の事業費も含む。

- 【市町村での計画変更による削減例】
- ①長野県下條村 (世帯数：1,213 人口：4,167人)
 - ・汚水処理人口普及率 93% (H19)
 - ・下水道 (見積もり) 45億円
 - 浄化槽 (実績) 6.2億円 (819基)
 - ②福島県三春町 (対象地区人口：9,190人)
 - ・農業集落排水 (見積もり) 1,000万円/戸
 - 浄化槽 (実績) 80~110万円/戸
 - ・汚水処理人口普及率 58% (H19)

- ③埼玉県ときがわ町 (人口：13,189人)
 - ・当初計画：下水道→変更計画：浄化槽
 - ・汚水処理人口普及率 35% (H14) → 55% (H19)
 - ・事業コスト 16%節約 実質公債費比率 (H18) 2.6% (全国5指に入る健全財政)
 - ・処理水水質 平均5ppm (町を流れる三波溪谷に清流にしか生息しない源氏ホタルが生息)
- ④島根県大田市大森地区 (世帯数：230 人口：550人 (H37計画))
 - ・汚水処理人口普及率 19% (H19・大田市全体)
 - ・下水道 (見積もり) 3.5億円→浄化槽 (見積もり) 2億円 (207基)
 - ・整備機関 9.3年→4.6年
 - ・事業コスト 42% (約1.5億円) 減、整備期間は半分に短縮

きれいな水を残したい これが当社の願いです

取扱品目 ○各種水処理機器○浄化槽用プロワー○浄化槽維持管理薬剤 等

株式会社 日環商事

石川県金沢市無量寺町10街区10番

TEL (076) 268-1771 FAX (076) 267-5348

E-mail nikkan@siren.ocn.ne.jp

URL: http://www.nikkan-shoji.com

水に命をあたえ、自然に帰す...
それがハイライトの仕事です。

浄化槽用殺菌・消毒剤
ハイライトグリーン

(特長)

- 完全溶解性で、吸湿性がほとんどなく、目詰りや影響による難腐りはありません。
- 有効成分の安定性がよく、持続性の高い消毒効果が得られます。
- 作業性がよく簡便で経済的です。
- 強い殺菌力を発揮します。
- 用途に応じて、特色のある形状が揃っています。

●ハイライトグリーンS (ドーナツ型15g錠) ●ハイライトグリーンQ (ドーナツ型15g錠) ●ハイライトグリーンS-90 (ドーナツ型15g錠) ●ハイライトグリーンM-90 (同型扁平型30g錠) ●ハイライトグリーンC (ドーナツ型75g錠) ●ハイライトグリーンL-60 (ドーナツ型150g錠) ●ハイライトグリーンL-90 (ドーナツ型150g錠) ●ハイライトグリーン (棒状型300g錠) ●ハイライトスティック45 (短棒状型45g錠) (水処理用電薬剤)

●サンブライト90W (30g水石型)

※用途に応じて使用器具も取揃えています。

日産化学工業株式会社 オルガノ山下手品株式会社 広島県販売代理店

大塚支店 大塚市東山町4-1-18 電話 0263-251111 FAX 0263-251112
広島支店 広島市中区紙屋町2-3-20 TEL 082 (232) 2296 FAX 082 (232) 2299

全国環整連 第34回全国大会 in WAKAYAMA

開催報告

2008年
10月23日(木)
10月24日(金)

〔開催場所〕 和歌山県和歌山市和歌山ビッグホール

〔主催〕 全国環境整備事業協同組合連合会

〔担当〕 全国環整連東海・近畿地区協議会

(和歌山県環境整備事業協同組合・(社)和歌山県清掃連合会)

〔後援〕 環境省、和歌山県、和歌山市、和歌山県市長会、和歌山県町村会、(社)和歌山県浄化そう協会、(社)和歌山県水質保全センター

全国環整連

第34回全国大会の開催にあたり

全国環境整備事業協同組合連合会 会長 玉川 福和
和歌山県環境整備事業協同組合 理事長 吉村 英夫

全国環境整備事業協同組合連合会第34回全国大会を「爽やかな秋の紀州路、和歌山」で開催することとなりました。

今、社会は大きなうねりの中で様々な変貌を遂げようとし、先の見えない混沌と不安と閉塞感に包まれています。右肩上がりの経済を基盤とした年金システム、健康保険制度などの国の社会保障の施策は制度そのものを根幹から見直さざるを得なくなっています。また、地方行政は見込めない税収の増加に頼り、先送りの返済を当て込んだ地方債で賄ってきた為、膨大な債務を背負い込み、本来、為されるべき住民のための地方の施策は縮小され続けています。さらに構造改革の名の下で市場経済主義が正当化され、弱者は切り捨てられ巨大資本が勝ち誇っています。このまま進むとやがて自由競争が市場を席巻し中小零細企業は締め出されることになるでしょう。歴史や経緯は無視され入札制度万能の社会的文化が蔓延し、歴史が作り上げてきた「弱気を助ける」古き良き日本の文化さえも破壊する予兆を感じます。逼迫した国の財政や地方財政の下では公共サービスの低下は当たり前のようになり、有料化や受益者負担に頼らざるを得なくなり、結局、持てる者のみが暮らしやすい社会になってしまおうのです。また、利便性や営利企業論理を求めすぎたが故の環境破壊は進み、待ったなしの状態であることは昨今の異常な気象現象で感じることが出来ます。

長い歴史の中に私たちの事業は生まれてきました。先達たちの血と汗が私たちに育み、この業界を支えてくれました。しかし、社会の変化は私たちに相応の対応を求めています。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「合理化特別措置法」など法律に基づく私たちの業界が国の施策や地方行政の動向と無関係でいられるわけではありません。全国環整連では地方財政と生活排水処理について調査、研究を重ね下水道から小型合併浄化槽への転換を提起し国や県、市町村に訴え続けてきました。特に下水道は地方財政を崩壊させる大きな要因になっている現状を指摘してきました。同じく、私たちは、私たち自身にも公共サービスの受託者としての「求められる、あるべき姿」を問わなければなりません。また、足元から見直し、私たちの次代を担う後継者や従業者の問題、毎日の日常作業にとどまらず未来を見据えた新しい業務への転換の問題など、何よりも原点に立ち返り、私たち業界の「明日」について考えなければなりません。

全国環整連第34回全国大会では私たちの業界の歴史や様々な、乗り越えてきた事象を検証し、今、私たちに求められているもの、未来に託すべきものを考える機会を全国組合員の皆さんと共有し、全国環整連の「明日への歩み」を爽やかな秋の紀州路、和歌山から全国に発信したいと考えます。

開催報告

平成20年10月23日(木)と24日(金)の2日間、和歌山市内の和歌山ビッグホールにおいて、爽やかな秋の紀州路、和歌山から「明日への歩み」をテーマに全国環整連第34回全国大会が開催されました。

初日は、式典、記念事業、懇親会等が行われ、式典では、大会旗入場から始まり、来賓として、地元選出の経済産業大臣衆議院議員二階俊博氏、民主党選出の参議院議員前田武志氏、公明党選出の参議院議員弘友和夫氏等が参加し祝辞を述べられ、関係省庁からは、環境省を始め国交省、農水省、経済産業省の各担当行政の方、和歌山県知事並びに和歌山市長から開催にあたり祝辞を頂いた。引き続き、物故者に対する黙祷、優良役員・優良従業員の表彰等行なわれ式典は厳粛に閉会された。その後、記念事業として和歌山県組合より、大会に向けて、県内の実態調査と組合としての取組みについて纏めたDVDが上映された。つづいて、基調講演として、財団法人日本総合研究所会長寺島実郎氏が「流動する国際状況から見た日本の行方」というテーマにて日本を取り巻く経済状況と今後のあり方についてご講演された。基調講演の後には、パネルディスカッションとしてコーディネーターに財団法人日本環境整備教育センター教育事業グループリーダー小川浩氏、パネリストに和歌山県議会議員社団法人和歌山県清掃連合会議員顧問代表中村裕一氏、和歌山大学経済学部市場環境学科教授中村太和氏、ふるさとコープ生活協同組合理事長箕島和義氏、和歌山市婦人団体連絡協議会会長塚本信子氏、全国環整連から玉川会長が参加し「わが業界の近未来について考える」を題名に討議が行なわれ、婦人会の会長である塚本氏から、住民の目線による浄化槽の下水道接続に関する素朴な疑問が投げかけられ、有意義なパネルディスカッションとなった。

大会2日目は、方針と本会議が開催され、方針では、各部会より、平成20年度の事業計画の説明が行なわれ、全国環整連の方向性について発表された。方針の後、本会議に移り、冒頭に、玉川会長による所信表明が発表され、各組合業者に改めて、自ら廃棄物の適正処理に向けて取り組む姿勢が必要であると言われ、日本国の政治経済が混沌としている中で、我々清掃業界が、今こそ一致団結して法改正に向けて取り組む必要があると決意が述べられた後、政府に対する要望決議及び大会スローガン、大会宣言が順次発表され採択された。大会も終焉を向かえ、時期開催地は、地元組合不在ではあるが、日本の首都である東京都での開催が発表され、大会旗が全国環整連総務部会長長木室啓治氏に継承された。その後、万歳三唱により大会の全日程を終えた。

株式会社 **ジーテック** 浄化槽管理システム

Mr. Aqua For Windows

業務にピッタリの操作性 地元広島で安心サポート

充実の管理資料メニュー カスタマイズで機能強化

現場管理 ニーズ強化 経営管理 ニーズ強化 事務管理 ニーズ強化

無料デモ実施中! 詳しくはフリーダイヤル ホームページから

☆用途で現場用端末が選択可
☆点検項目は自由設定
☆記録票・作業伝票・請求書他の現場発行もOK

株式会社 **ジーテック**
お問合せはこちらへ
フリーダイヤル: 0120-185374
http://www.gtcc.co.jp/

イソシアヌル酸系

日曹メルサン

水質を浄化し、住みよい環境を守る

し尿浄化槽放流水殺菌消毒剤

単独・合併のし尿浄化槽及び汚水処理設備等の殺菌・消毒にイソシアヌル酸を主成分とした有機系塩素消毒剤です

日本曹達株式会社 広島県葉業株式会社

本社 広島市西区商工センター3丁目4-25
Tel 082-277-7700 fax 082-277-7707

10月23日(木) 式典・記念事業 (DVD放映「明日への歩み」・基調講演「流動する国際状況から見た日本の行方」)

講師：寺島実郎氏・パネルディスカッション「わが業界の近未来について考える」・懇親会



基調講演「流動する国際状況から見た日本の行方」 講師：寺島実郎氏



式典



パネルディスカッション「わが業界の近未来について考える」



DVD 放映「明日への歩み」

式典

次第

1. 開会
2. 大会旗入場
3. 開会の辞
4. 物故者に対する黙禱
5. 大会式辞
6. 優良役員・従業員表彰
7. 受賞者代表謝辞
8. 来賓祝辞
9. 来賓紹介
10. 祝電披露
11. 閉会の辞
12. 閉会

10月24日(金) 方針・本会議



玉川会長 所信表明



次期開催地 **東京**

全国環境整備第34回全国大会スローガン

- 一、全市町村において、区域割りを明示した一般廃棄物処理計画の完全策定
- 一、浄化槽を下水道へ繋ぎ込む必要のない施設とする制度の確立
- 一、環境省認証のエコアクション21の取得の推進
- 一、全国環境維持管理システムの完全実施及びプロワ停止警報器の設置
- 一、不当、不法な新規許可の絶対阻止
- 一、全国環境連グランドルールに基づく合理化協定締結の推進
- 一、総合評価方式の積極的な導入へ向けての研究

発表者：全国環境連常任理事 大西 明

大会宣言

平成20年4月より導入された後期高齢者医療制度をはじめ、年金問題、石油関連の異常な価格高騰、又、あらゆる部門で偽装事件が続発している。

一方で、浄化槽が下水道と同等の生活排水処理施設として認知されているにも関わらず、汚水処理政策における下水道偏重は今なお続いている。今後、下水道の老朽化が進めば、更に自治体財政を圧迫する事は必定である。

議会は国民の未来に大きな責任を負わなければならない。全国環境連は議会に対し、自治体が財政破綻する事が無きよう、下水道法及び浄化槽法改正により社会的責任を果たす為、総力をもってこれにあたる事をここに宣言する。

平成20年10月24日

全国環境整備事業協同組合連合会 第34回 全国大会

政府に対する要望決議

戦後の日本は、世界に類のない高度成長を遂げ、60年が過ぎた現在、多くの綻びが多くの国民に、制度的不安をもたらしている。弱者であっても、安心して暮らしてゆける国であるべきを基本に、以下の事を要望する。

1. 一般廃棄物処理計画には、計画収集による温室効果ガス削減効果など、許可業者に対する許可責任の範囲を明らかにされたいこと。
2. 阪神・淡路大震災及び中越沖地震の被災地における浄化槽の耐久性能が立証された上は、ライフラインの保全上、避難指定場所には浄化槽の設置を条件とされたいこと。
3. 国及び地方自治体の財政再建、並びに国民の権利保護の観点から、浄化槽を下水道に繋ぎ込む必要のない施設とするよう、制度改正を行うこと。
4. 浄化槽に対する国民の正当な権利と義務を中心に考え、浄化槽の保守点検回数については、通常の使用状態において「以上」を除き「4月に1回」と明確にすること。
5. 新設浄化槽に対し、水質保全の観点からプロワ停止による放流水質悪化を未然に防止するため、警報機能付きプロワの設置を義務付けること。
6. 一般廃棄物の適正処理を継続的かつ安定的に確保するため、合特法に基づく合理化事業計画未策定市町村及び、法の趣旨を逸脱した補償を計画する市町村などに対し、趣旨の徹底を図ること。
7. 一般廃棄物処理計画に基づく、廃棄物の適正な収集・運搬を継続的かつ安定的に中小零細業者が存続実施出来るよう、政策変更されたいこと。

全国大会 IN 和歌山

10月23日・24日と和歌山市で全国大会が開催され、広環協からは総勢64名の参加となりました。

新大阪よりバスで高速道路を約2時間走らせると和歌山市内が見えてきました。大会会場のビッグホールはその名の通り、クジラを模している和歌山らしい建物でした。和歌山県組合員さんたちのお出迎えを受け、会場内に入ると全国各地から詰め掛けた組合員さんたちの熱気であふれかえっていました。

玉川会長、和歌山県組合員理事長のご挨拶と来賓の皆様のご祝辞を頂き、式典が終了しました。続いて、記念事業DVDが新たな試みとして上映されました。一般廃棄物処理業者の創業から現在に至るまでの歴史的背景が非常にわかりやすくまとめであり、思わず見入ってしまいました。そして、業務の中で様々な困難な事に対して住民一人一人の為に日々、努力と模索をされているのだなと感じました。

記念事業後の懇親会では、まぐろの解体ショーなど郷土色あふれる和やかな雰囲気の中で、一日目を無事に終了することができました。

二日目は各部会の方針での黒瀬理事長の会場内に響きわたる熱のこもった合理化新規許可対策部会の方針講演にいつもながら、感動いたしました。

無事に大会が終了し、帰路につかれる方をお見送りすることができ、何はともあれ安心しました。

また、紀州路の名所である高野山を散策する機会を頂き、1000メートル級の山々に囲まれた高野山はひんやりとした空気につつまれ、参道と歴史ある寺院を散策し、とても清々しく心が洗われる思いがしました。

今回の全国大会は事務局長が不在で、とても心細い思いで出発しました。何かと行き届かず数々のご不便もあつたかと思いますが、大事なく無事に和歌山大会を終えることができましたことを感謝しております。

ご協力ありがとうございました。来年度は首都東京で全国大会を開催することとなりました。また多くの皆様にご参加して頂ければと思います。事務局



旅行記

環境調査・環境アセスメント・受託分析・受託実験

地球環境と人との優しい関係

高い技術でサポートいたします！

株式会社 アサヒテクノリサーチ

本社 広島県大竹市晴海2-10-22
 TEL(0827)59-1800代 FAX(0827)59-1805
 広島営業所 広島市西区草津新町1-21-35 広島サウスビル1F
 TEL(082)278-8822代 FAX(082)278-8824

おかげさまで60年 進化



初期の森田式MS型真空式糞尿汲取車



SN式浄化槽水リサイクル車

森田ポンプ特殊工業株式会社

MURITA
株式会社モリタエコノス

レポート

全国環整連中国四国地区協議会 第1回通常総会 開催報告

全国環整連中国四国地区協議会は6月12日、広島市内のホテルセンチュリー21において、第1回通常総会を開催した。総会は玉川会長をはじめとする全国環整連の執行部全員を来賓として招き、各県の理事長や組合員など約70人が参加し、協議会会則や会長・副会長の選任、事業計画などを審議した。

冒頭には、開催地である広島県の黒瀬理事長より、「この度、高知県が新たに全国環整連へ加入され、適正処理を一生懸命に推進しようとする徳島県、鳥取県の方たちとともに一致団結し、諸課題に取り組みたい。」と挨拶を述べた。

議長には広環協の岡崎専務理事が選出され、第1号議案「全国環整連中国四国地区協議会会則」を可決、第2号議案の役員選任では、会長に広島県の黒瀬理事長、副会長には徳島県の中川理事長、鳥取県の越生理事長、高知県の岡田理事長がそれぞれ就任された。

平成20年度事業計画、会費案・収支予算案もそれぞれ満場一致で可決承認され、総会終了後の懇親会では全国環整連執行部から今後の発展を期待する祝辞が寄せられた。



全国環整連中国四国地区協議会 第1回通常総会 議事案件

- 第1号議題 全国環整連中国四国地区協議会会則(案)決定の件
- 第2号議題 会長・副会長の選任について
- 第3号議題 平成20年度事業計画(案)決定の件
- 第4号議題 会費(案)決定の件
- 第5号議題 平成20年度収支予算(案)決定の件

平成20年度 全国環整連青年部研修会 開催報告

平成20年7月18日に福岡県福岡市のホテルクリオコート博多において「平成20年度全国環整連青年部研修会」が開催された。毎年東京で開催される本研修会だが、今年度より各ブロックごとの持ち回り開催となり最初の開催地となる福岡県で全国から青年部員約120名が参加した。

まず開会にあたり、来賓の玉川会長より挨拶を頂き、その後全青年部員を5部会に振り分け各部会にわかれての進行となった。

それぞれ各部会が「業界の進む道」というテーマで全国環整連5部会の動向を中心に、この先の見えない社会情勢の中、我々業界はどこへ向かって進みどのように行動していくべきなのかといったところを真剣に討議し、最後に総括として参加青年部員から研修会での感想、これからの意気込み等を発表し閉会した。



廃棄物処理法 勉強会開催報告

全国環境整備事業協同組合連合会は平成20年9月10日、東京の如水会館において、昨今の厳しい財政状況により行政の政策転換がおこなわれていることを踏まえ、ごみ処理部会「廃棄物処理法」勉強会を開催した。

まず、全国環整連 丹野ごみ処理部会長は、「本日の勉強会に200名を超える組合員が参加いただいたことをみても、我々業界に危機感を感じている方が多数いることが伺える。本日の勉強会が危機感を解決できるヒントになってほしい」と開催の挨拶がなされた。

講演1では芝田弁護士を迎え、「市町村と随意契約をしてきた一般廃棄物収集運搬業者の法的地位」と題して、過去の判例を踏まえながら、「競争入札制度と随意契約制度」、「随意契約制度が廃止された場合の業者の地位等」についての説明がなされた。講演2では総務省自治行政局行政課行政第三係長 工藤氏を迎え、「総合評価方式」について評価基準・流れ等についての説明があり、競争性を十分に確保しつつも技術的要素等の評価を行うことが重要であり、不良不適格業者の排除等についても留意が必要であることの説明があった。

廃棄物処理法の目的には「生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ること」となっており、競争が行われた結果、不適正な処理が行われた場合、市町村の責任は極めて重いものになることから、我々の業務の性質上、随意契約がふさわしいものであると考えられる。我々業界は「適正料金」・「適正処理」を訴え続けてきており、地元住民から信頼を得られる様、自らの業務を振り返ると同時に、適正業務を遂行するためにも行政と協議を重ねる事が重要である。





会社概要

会社名 いすゞ自動車中国株式会社
 本社 〒733-0822 広島県西区庚午3-12-2
 TEL 082-271-1111(代)
 事務所所在地 山口県 広島県 高松県 鳥取県 岡山県 一円
 従業員数 約600名

事業所



THE CORPORATE GUIDANCE

ISUZU



ISUZU
いすゞ自動車中国株式会社

各種環境分析・環境調査についてお気軽にご相談ください

環境アセスメント 水質分析 大気測定 作業環境測定 アスベスト測定
 ダイオキシン類測定 騒音・振動測定 飲料水検査 潮流調査 生物相調査

平成18・19・20年度環境省ダイオキシン類受注資格取得、特定計量証明事業者(MLAP)取得
 水道法に基づく厚生労働省登録水質検査機関、環境省指定土壌汚染状況調査機関

株式会社 エヌ・イー サポート

本社 〒733-0812 広島県西区己斐本町3丁目13番16号
TEL (082) 272-9000 (代)

支社/東京(松島)・大阪 支店/岡山 営業所/名古屋・高松・福山・周南・福岡
 分室/土木部(中区加古町)・環境部(中区南竹屋) 技術研究室/東京(葛西)

URL <http://www.nesupport.co.jp>

ポエック株式会社 平成15年1月 第13回 全国ニュービジネス大賞 優秀賞受賞

21世紀、私たちはさらなる飛躍を目指します!

ポンプ関連事業

各種ポンプ・ブロワ・送風機
 水質測定器・水処理剤
 浄化槽関連機器

サービス&メンテナンス

ポンプ・送風機・産業用機械類
 の修理

新商品

電気不要消火装置
 オゾン脱臭装置
 ガス発生装置・熱交換器
 水中攪拌機・まるごとエキス
 高圧方式細砂ろ過装置

■本社 **ISO9001 認証**

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町2-1-12
 TEL(084)922-8551(代) FAX(084)922-8552

岡山営業所 東京営業所 福岡営業所
 松山営業所 大阪事務所 長崎支店
 関係会社: 榊三和テスコ(研究所・工場)

広島営業所 〒731-0136 広島県西区中広町3-18-21
 TEL(082)297-4578 FAX(082)297-4582

【詳しくはホームページをご覧ください。】
<http://www.puequ.co.jp>

浄化槽・し尿・廃棄物
 管理業向けシステム

環吉21

かんきち

業態独特の顧客管理項目

作業実績管理機能

契約状態管理機能

作業予定作成・管理機能

多彩な売上・未収金管理機能

金融機関自動引落し機能

無料デモンストレーション随時受付中

資料請求・デモ申し込み・その他お問い合わせはこちらまで

有限会社インティ
 〒740-0028 山口県岩国市桶町1丁目9-13
 TEL 0827-22-7746

開発元

東芝ITコントロールシステム株式会社
 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19
 TEL 092-481-1201